

## | 受験方式

一般選抜		教科	満点	英	国	日	世	政	数IA	数IB	他	備考
経済	〈A方式〉	2	420	200	-	-	-	-	150	70		[他]小論文
	〈B方式〉	2	420	200	-	(150)	(150)	-	-	70		[他]小論文

## | 志願者推移 (数値は集計日時点による)

※志願者割合は各年度の志願者÷定員の値を比較 (△:増加% ▼:減少%)

一般選抜		20'定員	20'志願者	21'定員	21'志願者	志願者割合	備考
経済	〈A方式〉	420	4,193	420	3,716	▼11%	
	〈B方式〉	210	1,956	210	2,081	△6%	

## | 入試問題分析

### | 英語

入試問題分析	問題形式、レベルは例年と変わらない。3題の長文と、和文英訳型の英作文、そして自由英作文である。この入試において大きな鍵を握るのは大問5の条件付き自由英作文であろう。また発音・アクセント問題も頻出なので一通り学んでおく必要があると思われる。
--------	---

### | 日本史 〈B方式〉

入試問題分析	<p>大問数は、昨年度のまま3題であるが、小問数が39問から42問に増加した。今年も地図問題は2問出題された。今年も共通テストの影響か未見資料問題とグラフ読み取り問題も出題され、論述問題は昨年の19行から18行にやや減少した。ただし、論述問題が史料と関係なく、すべて知識のみで書けるタイプになったため、全体的には易化といえる。大問Ⅰは「対馬を通じた日朝外交史」、大問Ⅱは「近代法制史」、大問Ⅲは「沖繩史」が出題された。今年も昨年に続いて大問Ⅰが世界史と同一テーマであった。</p> <p>出題範囲が限定されるので、かなり絞った学習がしやすく、比較的対策がたてやすい学部ではある。今年も史料の読解力に加え、恒例のグラフを読み解く問題が出題された。毎年出題されている配列問題は、年表を空欄にしていく形なので、普段から年代を覚えるのはもちろんのこと、同じ年代に何があったのかをチェックしておく必要がある。地図問題対策としては、教科書や図説の地図で地名をチェックする作業をまめにしておこう。</p>
--------	---

### | 世界史 〈B方式〉

入試問題分析	<p>例年、16世紀以降しか出題されず、2019年度は全て17世紀以降の出題で、文化史も全く出題されなかった。しかし、2020年度は中世史から1問のみ出題、2021年度は大航海時代と古代中南米文明の絡みで15世紀以前も数問出題された。また、かつて定番であった1970～80年代のアメリカ経済史は、今年度も出題されなかった。代わりに世界史の中の日本という観点が重視されつつあり、また、明・清の海禁と東アジア諸国の動きが新たな定番になってきた。文化史は、2019年度は48問中0問、2020年度は45問中3問、2021年度は37問中8問(中世文化史も含む)。論述問題が2019年度は8問、2020年度は7問、2021年度は10問。字数の指定はないものの、横17cm×2～3行というパターン。</p> <p>難用語を出すわけではないが、論述能力を求められる傾向が続く。論述の難易度は2020年度は例年より高かったが、2021年度は標準的な難易度だった。年号・論述の比重が高く、深い理解と言語化能力が必要。それなりに熟練を要するため、用語だけ勢いで覚えても対応は難しい(年号並べ替え問題の比重が高いので、年号は絶対必須)。論述問題としての難易度はそんなに難しくないが、2か月程度の訓練は必要。上記より、近代・現代・戦後史が得意で、年号、論述も出来る人向けと言える。また、過去に定番だった複雑なグラフ読み取り問題が消滅したので、かつてよりも簡単。ただし、2020年度にグラフ問題が復活したが、平易。なお、経済学部だけに、戦後史の経済関係用語は執拗に出題されている。経済協力機構も熟知しておきたい。</p>
--------	---

### | 数学 〈A方式〉

入試問題分析	<p>昨年度と同様、大問6題構成で、大問1～3がマーク式、大問4～6が記述式である。昨年度よりはとっつきやすい問題がやや増えたとはいえ、依然として文系入試としては難しい。特にここ2年、空間における図形を考察する問題、微積分において関数が未定のまま解き進める問題が出題されている。</p> <p>私大文系の中では難易度は高い。問題集などで見たことがあるから解ける、では合格点に達するのは難しいだろう。自分で問題の意図をしっかりと理解しさえすれば、典型問題に落とし込むことが出来る場合も多いので、まずは基本事項の徹底理解が求められる。</p>
--------	---

### | 小論文 〈個別方式〉

入試問題分析	<p>全2問、課題文の要約問題(200字以内)+意見論述問題(400字以内)。 文章量・出題形式・文字数・制限時間すべて例年通り。制限時間が短く(60分)、課題文の読解から要約までは素早く済ませ、意見論述の時間を稼ぎたい。意見論述は課題文の主張に即した具体例の提示や推論が求められるため、意見の独自性よりも、課題文を理解していることをアピールするような解答が望ましい。</p>
--------	--